

ターミナリアベリリカTM

We are pursuing [High-end] to be a top company using the fusion technology of traditional and cutting-edge science.

TerminaliabeliricaTM

ターミナリアベリリカ(学名: *Terminalia bellirica*)は、生命という意味の「アーユス」と知識という意味の「ヴェーダ」からその言葉が出来たといわれるインド古来の「**アーユルヴェーダ**」で伝承されている植物のひとつで、インドをはじめとする南アジアなどの熱帯地域に幅広く原生しているシクンシ科の落葉樹です。その果実は、「**アーユルヴェーダ**」において利用されるハーブフォーミュラ(処方)であるトリファラ(Triphala: 3つの果実)に用いられています。

ターミナリアベリリカの果実から抽出して得られた機能性素材が、ポリフェノール類を多く含む**ターミナリアベリリカTM**です。

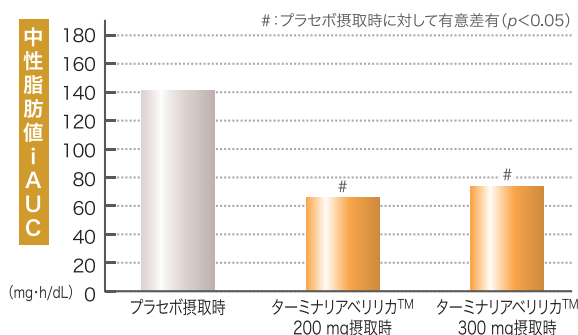
インドのこだわり素材、伝統的な果実

ターミナリアベリリカは、インド、スリランカ、東南アジアなどで生育しているシクンシ科に分類される広葉樹で、直径約3~4 cmの実をつけます。

ターミナリアベリリカ™は、その果実を熟した状態で収穫し、乾燥させたものから抽出したエキスで、ポリフェノールを豊富に含んでいます。



食後中性脂肪値への影響

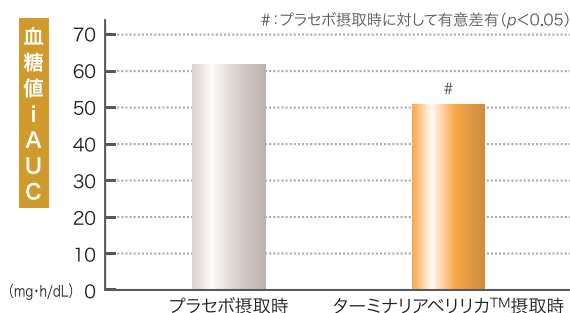


二重盲検クロスオーバー法で、健康な成人男女34名を対象に試験を実施しました。ターミナリアベリリカ™ 200 mg、300 mg含有食品(ターミナリアベリリカ由来没食子酸量: 20.8、31.4 mg)、またはプラセボ食品を摂取させた後、負荷食として脂質を多く含む食事を摂取させ、摂取前、摂取2、3、4、6時間後の血中中性脂肪値を測定し、中性脂肪値iAUC(摂取前から摂取6時間後までのΔ中性脂肪値(摂取前からの変化量)の血中濃度曲線下面積)を算出しました。

食後の中性脂肪上昇を有意に抑制

薬理と治療, 43(8), 1175-1180(2015)
No.005-1272

食後血糖値への影響

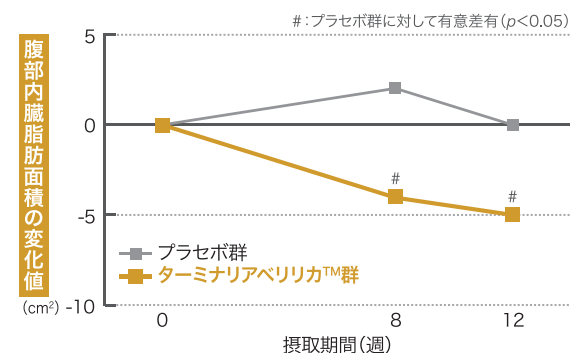


二重盲検クロスオーバー法で、空腹時血糖値が正常高値および糖尿病境界域の成人男女46名を対象に試験を実施しました。ターミナリアベリリカ™含有食品(ターミナリアベリリカ由来没食子酸量: 20.8 mg)、またはプラセボ食品を摂取させた後、負荷食としてカレーライスを摂取させ、摂取前、摂取30、60、90、120分後の血糖値を測定し、血糖値iAUC(摂取前から摂取120分後までのΔ血糖値(摂取前からの変化量)の血中濃度曲線下面積)を算出しました。

食後の血糖値上昇を有意に抑制

薬理と治療, 47(8), 1245-1251(2019)
No.TYS05001

内臓脂肪への影響



二重盲検並行群間比較法で、健康な成人男女84名を対象に試験を実施しました。ターミナリアベリリカ™含有食品(ターミナリアベリリカ由来没食子酸量: 20.8 mg)、またはプラセボ食品を1日2回、12週間摂取させ、腹部内臓脂肪面積の変化値を観察しました。

腹部内臓脂肪面積が有意に減少

薬理と治療, 46(12), 2091-2098(2018)
No.TYS04601

機能性表示食品対応素材

ターミナリアベリリカ™は、食後の中性脂肪や血糖値ならびに内臓脂肪への機能を訴求する機能性表示食品として届出公開実績があります。

【届出表示例】

本品には、ターミナリアベリリカ由来没食子酸が含まれます。ターミナリアベリリカ由来没食子酸には、食事に含まれる脂肪や糖の吸収を抑えて、食後の中性脂肪や血糖値の上昇をおだやかにする機能、肥満気味な方の内臓脂肪とBMIを減らすのを助ける機能があることが報告されています。